



第十四章

トウモロコシ

泊まりがけの仕事で名古屋を訪れた。1日めの仕事が終わりと、夫と私はスタッフと夕食を摂った後、街へと繰り出した。

中区栄町と言えば、繁華街。夜の街は結構、賑わっている。しかし、同じ歓楽街でも、地域によって微妙にカラーの違いがある。街の雰囲気自体もさることながら、行き交う人の雰囲気も、地域によってそれぞれなのだ。ファッションや髪型の流行はたいして変わらないのに、それでもどこか微妙に違いがあるように感じられる。すれ違う度に人間ウォッチングに動んでいた夫は、その“名古屋っぼさ”を心底楽しんでいるようだった。

気がつくと、栄の交差点まで来ていた。三越やメルサなど大きなデパートに囲まれた、一段と賑やかな場所である。そこに一本の巨大な街灯が立っていた。四角いガラスの中に1個ずつ電球が入っていて、それがびっしり連なる様は、まるで光るトウモロコシ。「名古屋っぼいな〜」と嬉しそうな声を上げ、夫はそれをカメラに収めた。

「東京のイルミネーションや街灯だって、さほど違いはないじゃない」と言う私に、「全然わかってないな〜」と得意気な夫。先を歩く夫の背中がますます楽しそうで、まだしばらくはホテルに戻れないな、と私は覚悟した。

Profile

尾形正茂 株式会社シェルパの代表であり、カメラマンとして広告や雑誌の他、CDジャケットやグラビアなどに携わり日々格闘中。

尾形 操 平成17年よりフリーとして独立。現在はMacによる広告などのレイアウト・デザインに携わり日々格闘中。

シェルパホームページ

▶ <http://www.sherpa-jp.com>

1都1道2府43県〇一期一景

photo: Masashige Ogata, writing & layout: Misao Ogata

